



杉原寛信使徒座管理区長認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区
編集人 下町豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部70円

6月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【福音宣教】司祭の生活様式
【日本の教会】差別のない社会

「御国が来ますように」をモットーに11年

4月27日(土)、フランスシスコ教皇が福岡教区長ドミニコ宮原良治司教の教区長辞任願を受理したことが発表された。同時に福岡教区の使徒座管理区長として大名町教会主任司祭の杉原寛信神父が任命された。宮原司教は2008年5月18日に福岡教区司教として着座。「神よ、あなたの御国が来ますように」をモットーとして、11年間、福岡教区長としての任を務めた。



宮原良治司教

3月19日に宮原司教の福岡教区長任命が発表された。司教紋章に記された「神よ、あなたの御国が来ますように」をモットーとし、着座式で宮原司教は「神の御国が福岡教区でも大きく広がっていくよう、祈りを中心に、聖霊の力強い導きを願い歩みたい」と述べた。

2008年5月18日、当時大分教区長だった宮原良治司教が福岡教区長として着座した。2006年6月2日の松永久次郎司教急逝後2年間の空位期間を経て、2008年

宮原教区長 11年の軌跡

2008年5月18日、福岡国際センターで宮原司教の着座式、約3000人が参列。

2009年1月、「司祭召命の育成」を優先課題に。

2010年7月、ベトナムから「愛の十字架修道会」を福岡教区に招聘。

2011年1月、「信仰生涯学習・元年」。「救いの秘儀を知り(信仰生涯学習)、追体験し(典礼祭儀の充実)、生き(家庭と社会生活での実践)、伝える(福音化)」を教区の指針に。

同年6月、教区カトリック学校中堅教職員研修会を始

2012年10月、宮原司教第13回通常シノドス(世界代表司教会議)「信仰伝達のための新しい福音宣教」に参加。

2013年4月、長崎教会管区司祭志願院「福岡コレジオ」誕生。

2014年4月、教区年間目標を「信仰の伝達」とする。同年7月、「大濠カトリック

み提案した。2011年からは「信仰生涯学習」の視点を導入。「ともに学び、祝い、生き、伝える家庭共同体」を育む為に各小教区で具体的な取り組みを行ってほしいと呼びかけた。同年、「福岡教区の日」が開催され、その後、毎年11月23日にカテドラルで「教区の日」が行われるようになった。

その後も、社会や教区内の様々な課題(司祭・修道者の高齢化、若者や子どもの減少、教育現場の変化、信仰の伝達など)に毎年、具体的な指針を示した。「司祭の家」の建設、「カトリック幼児教育教職員養成研修」や「カトリック学校新任教職員研修」の実施などを通して、課題への対応を行った。

ク会館」開所。
2016年1月、教区年間目標を「いっしょに深く、御父のように」と設定。
同年4月、熊本地震発生。5月に「カリタス福岡・熊本支援センター」を開設。
2017年1月、年間目標「いっしょに深く踏み出す第一歩」を発表。
同年7月、九州北部豪雨災害発生。「被災地ボランティア本郷宿泊所」を開設。
2018年1月、年間目標を「神のいっしょに生きる、広めよう」に。
同年4月、「美野島司牧センター」の落成祝式。
同年5月、宮原司教の福岡

2008年5月18日、福岡国際センターで宮原司教の着座式、約3000人が参列。
2009年1月、「司祭召命の育成」を優先課題に。
2010年7月、ベトナムから「愛の十字架修道会」を福岡教区に招聘。
2011年1月、「信仰生涯学習・元年」。「救いの秘儀を知り(信仰生涯学習)、追体験し(典礼祭儀の充実)、生き(家庭と社会生活での実践)、伝える(福音化)」を教区の指針に。
同年6月、教区カトリック学校中堅教職員研修会を始



2018年「教区の日」



杉原寛信神父
は、たこと
区長と教
に見え
て深く

司教座空位に伴う連絡事項

5月9日、福岡教区顧問会は宮原司教引退に伴い「お願いと報告」を教区内小教区と修道院に通知した。教区顧問会で確認されたのは以下の通りである。

- ①「司祭評議会」は、宮原司教の辞任により解散。
- ② 司教不在の間、「教区顧問会」が必要な対応を行う。
- ③ 責任司教辞任に伴い、役所関係の書類に名義変更が必要。近日中に必要手続きに関して、再度案内する。
- ④ 2019年11月23日に予定されていた「教区の日」は中止する。教区の年間テーマに決まらざるようお願いする。
- ⑤ 「福岡教区ハンドブック2019」の発行は約1ヶ月遅れでの配布となる。
- ⑥ ミサの奉献文の「私たちの司教〇〇〇〇」の部分は唱えない。
- ⑦ 各小教区で予定されている「堅信式」は主任司教が執り行う。

時の話題

差別と偏見 克服の鍵は

ハンセン病問題に関わって18年になる。完治しているのに「らい予防法」による絶対隔離政策は憲法違反だと訴えた裁判は、2001年元患者たちが勝訴した。その2年後、事件は起きた。「らい病は汚い。人前に出ると」。「お前は人間でない。人権もない。さっさと死んでくれ」「完治されたなら療養所を出て自宅に帰るか、一般社会で生活すべき」：ホテル宿泊拒否に端を発し、大量の差別文書が菊池恵楓園自治会に届いた。差出人の名は無い。加害者意識のない差別・偏見が吹き出したのである。事件から数年後、入所者のM氏はこう語った。「隔離された自分の存在が知れて、姉は離縁され自死。弟も命を…」サングラスの下から涙が流れていた。そのとき私たちは「らい予防法」が元患者の家族をも差別と偏見に晒し、現在も社会から隠れて生きていかざるを得ないことを知った。2016年、家族たちも訴訟を起こした。「おまえは、くされの子やろが」「家を焼かれた」「菌がうつると言われ、学校ではいつも風下に座らされた」：この差別文書と家族に対する偏見には共通点が見える。「ハンセン病」についての誤解、無理解と、元患者とその家族が辿った苦渋の歴史を知

使徒座管理区長に杉原寛信神父

宮原司教の引退に伴い、福岡教区の使徒座管理区長として杉原寛信神父(大名町教会主任司祭)が任命された。引退を希望する司教が提出した辞任願を教皇が受理した時から、その司教区は司教座空位となる。その空位期間の教区管理者の選出についてはいくつかが形があるが、教皇が直接に任命するのが「使徒座管理区長」である。その任期は、新しい司教の着座によって終了する。

宮原司教は次のように語る。「ドミニコ宮原良治司教様が教区長を辞任されたことを受け、教区の皆様一人おひとりの中に、思い巡らすことが多々あると思います。確かな見えて、深く

「編集注」6月の日本の教会の折りの意向「差別のない社会」に合わせ、「ご寄稿いただきありがとうございました。いわれのない差別によって苦しんでいる人々の心の痛みを受け止める、差別を作り出す要因や構造を解明、改善していくことを通して、すべての人が幸福に生きる権利が保障される社会を実現していくことができませんように。」(きよさをささげる折りのしおり2019より)

88歳のおばあちゃんが一人で暮らしている。時々ご聖体を運んでいる。おばあちゃん、「皆さん、いつもありがとうございます。神様とマリア様から見守ってもらえて、本当に幸せです」と言いながら、畳の部屋に椅子と座布団を用意してくれる。「最近、お孫さんは来てくれますか?」と聞くと、「とんと来てくれません。姉弟そろってどこで何をしているのか。母親の所(墓)にも連れて行ってくれませんか」と、細かい声で返事する。一年前までは家に寄ってくれて墓にも連れて行ってくれたと喜んで話していたのに、最近は音沙汰も無いという寂しい限りだ。訪問する度に、「これまでに色々なことがありました」と記憶を掘り出して話すおばあちゃんからその人生をのぞかせてもらいながら、自分の歩み振り返る。このおばあちゃんのような苦労はしていないが、それなりに充実していたような思いがした。おばあちゃんの口癖は、「こうやって何事もなく生きておられるのは、神様とマリア様のお蔭です。いつも感謝しています」。筆筒(たんす)の上に設えた十字架とマリア像の祭壇。その周りには亡くした娘や父親の笑顔が見える。おばあちゃんはその前に座り、思い出にふけったり、祈ったりしている。「私はあなたのことを忘れない。たとえ母親が忘れようとも私はあなたのことを忘れない」(イザヤ書49章)。神様はいつも近くにおられる。そして、聖霊を与え、イエスと共に天の御父の元へ歩いて行けるようにしてください。神様から見守ってくださる以上の幸せはない。(S)

福岡教区 現勢報告 2018年(2018年1月~12月)

Table with columns for church names, membership statistics (male, female, total), baptisms, and sacramental participants. Includes sub-totals for Fukuoka Region, Kyushu Region, and the entire Diocese.

【編集注】コメントで渡辺師が指摘する信徒総数の増加は、統計方法の正確な理解を広めていることに理由がある。本来、信徒総数は居所不明者を含めた数だが、これまで居所不明者を含めない数を提出している小教区が多かった。

現勢報告を受けて

渡辺 隆義 (天草3教会主任司祭)

福岡教区の現勢報告で気になるのは、洗礼者数、死者の数と信徒総数のアンバランスです。洗礼者は幼児と成人を合わせて228人。因みに昨

年は245人でした。死亡は319人となっています。受洗者より死者の方が9人多いこととなります。居所不明として扱われている人は昨年より4人減少しているだけです。ところが、信徒総数は昨年に比べて754人も増えているのです。他教区から福岡

教区への転入者が格段に増えた。あるいは受洗者の中に含まれないプロテスタントの教会からの転籍者が多かったというのでしょうか。詳細な分析が待たれます。

このなことにこだわると、天草から福岡教区全体を眺めると、教勢が伸びているという実感がないからです。むしろ、天草では市の人口流失と比例するかのよう教会の信徒の数は確実に減少しています。ですから、少子高齢化で衰退しているあちこちの小教区の現状を宣教の努力が足りないためと結論づけるのは短絡的な気がします。実り

信じる喜びから伝える喜びへ④

義に飢え渴く人々は、幸い

「喜びに喜べ」77~79

私たちは福音書を読むたびに、一つの「誘惑」にさらされていきます。それは偏った読み方で、自分と神との閉鎖的な関係という誘惑なのです。曖昧で泡のような「霊性化」にされ、人間の次元、日々の営み、社会的な関わりなどに一切結び付かず、心の中に



使徒的勧告『喜びに喜べ』

制限された読み方なのです。今回の「幸い」によって、私たちはその偏った読み方に気づき、それを直す機会が与えられているのです。飢え渴くこととそれを満たすことは人間的な必要性です。生きるために、まず、食べたり飲んだりしなければならず、その要求を十分に満たさなければ命にかかります。さらに、この必要性は物質的な食べ物から、社会的に衣食住を通して、人間の尊厳という糧、そして、愛することと愛される

ことといった人生を養う生きがいが含まれているのです。「義」という言葉に対する解釈はそれぞれありますが、聖書の裏付けとして、ヨハネ福音にあるイエスの「表現」に触れましょう。「わたしの食べ物とは、わたしをお遣わしになった方の御心(みこころ)を行い、その業を成し遂げることである(4章34節)。「義」は神の御心を行うことで、それはすべての人が救われますようにという願い。このいう視点から実践の方向性が見えてきます。①「神の義」、つまり、全ての人間に与えられた神の救い。②「人間の義」、つまり、施しから小さくされた人の権利を保護することま

でを含む善のわざ。③「社会的な義」、つまり人間同士の公平な関係が実施される意識づくりと実行。義に対する三つの心構えは根、花、実りのような相関関係にあります。人間性における多角的、重層のレベルで物理的な飢え渴きから、心の飢え渴き、人間関係の飢え渴きまで、人間の成長のため、すべてが欠かせないものです。「私たちの日ごとの糧を、今日もお与えください」。人間の根本的な要求である「飢え渴き」は、主の祈りの中で明確に表現されています。執筆者 R・フィリップニ神父(聖ザベリオ宣教会/玉名・荒尾教会主任)

の時が来ることを信じて福音の種をせつせと、効果的に、時き続けたいものです。



飯塚教会 献堂式 更に大きな信仰の輪をつくる



3月31日(日) 宮原良治司教司式により、飯塚教会(飯塚市)の新聖堂祝福式が桜の花が咲きほころぶ中、晴れやかに挙行された。

飯塚地区は、かつて筑豊炭鉱の中心で人口が増え活気溢れていた。この地に昭和9年ドレル神父(パリ外国宣教会)が宣教の手を伸ばして飯塚教会を建てた。昭和37年に旧聖堂が再建され、改修を

経て現在に至った。その間、炭鉱の閉山に伴い信徒数の減少、信徒の高齢化と共に建物の老朽化が目立ち始め、改修が新築かと声があがったが、具体的な構想がないままであった。2016年に建設委員会を設立。信徒一同による「新聖堂建設の為の祈り」「共同祈願」を通して主のもとに一致し、新築計画が具体化された。

限られた予算内で各種要望に応えるため、幾度となく設計案の検討を行い、それに伴う実施見積りの調整が繰り返された。2018年7月に宮原司教に計画書を提出し、実地承認を頂き、新聖堂建設の

着工が決定した。8月より57年間慣れ親しんだ旧聖堂の解体が始まり、涙と共に寂しい気持ちになるのと同時に新聖堂への希望に胸膨らませた。基礎工事、本体工事と進捗し、象徴である十字架の取り付けの際、隣接する飯塚聖母幼稚園の園児達がハンドベルを鳴らし続けた。マリア像が設置され、この新聖堂が地域社会に開かれ、愛を伝える拠点となり、共同体として相応しい教会となるように祈った。筑豊地域の直方教会、田川教会と共に、より一層絆を深め更に大きな信仰の輪を造り、新しい一歩を踏み出す為に、これからも飯塚教会とそこに集う信徒を祈りによって支えて欲しいと願っている。尚、落成式は、7月28日に予定している。(報告)飯塚教会 中口鉄男



「令和」の時代が始まり、お祝いムードの10連休の最後の5月2日(木)~4日(土)、第54回福岡教区クルシリヨが、福岡黙想の家・ザビエル聖堂を会場に開催された。今年のテーマは「神さまと出会い、語り、恵みをいただく」。日常を離れて、ともに祈り、学ぶ機会が少なくなっている中、参加しやすいクルシリヨの形を模索してきたが、今年には15人の参加者を得て行われた。復活節に相応しく、「使徒の教え、相互の交わり、パ

第54回 クルシリヨ 神さまと出会い、語り、恵みをいただく

ンを裂くこと、祈ることに熱心であった初代教会の姿を模範にしながら、現代の教会に求められる信徒の奉仕職はいかにあるべきのかをともに祈りながら、学んだ。今年、はからずもフランスの使徒的勧告『喜びに喜べ』を題材にした講話が重なり、これは福岡教区の年間目標である「信じる喜びから伝える喜びへ」とも響きあうもので、身近な聖性に生きることの大切さをよりよく理解し、実現してゆく励みとなった。講話の中で、「ミサ」とは「行きましよう」、すなわち「派遣」の意味であることを知った参加者とスタッフは、ミサ後の「アガペー」で再会を約束して、それぞれの場へと派遣された。

【講演会のお知らせ】 講師：来住英俊神父 場所：ザビエル聖堂 時間：14時~16時 6月8日(土)「殉教の霊性を考える」 7月6日(土)「宣教をスタートアップする」 ◆黙想会の申込締切は開催の一週間前まで ◆詳細はお問合せください カトリック御受難修道会・福岡黙想の家 811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30~16:30) Fax 0940-32-3385 E-メール f-mokuso@fmokusou.com

【奉獻生活者のための黙想会】 ①6月21日(金)夕~28日(金)朝 ②7月20日(土)夕~27日(土)朝 指導：①来住英俊神父 ②染野治雄神父

Advertisement for 'Misa Wine' (ミサ用ワイン) featuring Muller wine bottles and contact information for Nishiki Hotel.

Advertisement for 'SOU-EN' (草苑) funeral services, including contact information for Kinoshita Co., Ltd.

花岡山殉教者墓地にて 福者小笠原玄也一家殉教記念ミサ



花岡山殉教者墓地でのミサ

4月28日(日)、熊本市内の花岡山殉教者墓地広場に、福者小笠原玄也一家殉教記念ミサが捧げられた。熊本県内各地より司祭・修道者・信徒約200人が参列した。ミサは、櫻井尚明神父(手取教会主任)並びに6人の司祭の共同司式で捧げられた。説教で、櫻井神父は次のように語りかけた。「宣教師フランチスコ・ザビエルが日本に伝えた神の愛は素晴らしい。捨てがたい信仰として、命を変えても感謝する。この

生き方を貫いた家族こそ、小笠原玄也一家ではないでしょうか。私たちは、弱さを身にもっています。しかし、復活されたキリストがいつとも一緒に歩いてくださっている。このキリストへの信頼が私たちに一番大切ではないでしょうか。」

また、櫻井神父は、このミサの福音書の中で述べられている、復活されたキリストの体に残された、その傷跡についても言及した。

思えば、3年前の殉教ミサで当時、宮原司祭は「復活祭の次の主日に捧げられる小笠原玄也一家の殉教ミサは復活されたキリストの体の傷跡の意味を伝えてくれるものである」と語りかけている。これは、正に今回のミサの説教と呼応するものであった。このミサの中で殉教者一人ひとりへの取次の祈りが荘厳に唱えられた。この厳粛な祈

福岡地区青年会企画 「中高生わっしょい☆」

プチ運動会と聖母の夜!?



「プチ運動会」で盛り上がる参加者ら

福岡地区青年会は教会に集う仲間との出会いの喜びを体験し、絆を深めてほしいと、中高生のための集いを年に1~2回企画している。

5月19日(日)、中高生を対象とした交流企画「中高生わっしょい☆」が大楠教会(福岡市南区)を会場に開催された。中高生7人、青年・司牧者16人の計23人が参加した。

前半は大楠教会に隣接する聖クララ幼稚園ホールを借りての「プチ運動会」。運動量が多めのレクリエーションで3班に分かれて点数を競った。参加者たちは中高生、青年・司牧者の区別なく盛り上がり、笑顔が会場に溢れた。参加した中高生は「みんなが参加できて楽しめる良いものでした」「初めは少し緊張しましたが、新しい友達もできとても楽しかったです。また機会があれば参加したいです」と感想を述べる。

今回は聖母月の開催ということもあり、プチ運動会の後に、教会のルルド前で「聖母の夜」を行った。担当司祭のイ・ハヌン神父(浄水通・茶山教会協働司祭)がマリアに祈りを捧げる意味を説明した後、聖母賛歌を歌った。その後、参加者はそれぞれの祈りと想いをこめて、ろうそくをマリア像の前に捧げた。その後、受胎告知の聖書箇所が朗読され、イ神父のお話し、共同祈願と進み、参加者は祈りを深めた。



↑ルルド前で祈りの時を持つ参加者ら

マリア像の前にろうそくを捧げる参加者→

午後から関根悦雄神父(イエズス会)の「真の人間教育」と題した講演があった。日本国の現状を交え、愛しあいうるしあうイエスの教えを、聖書を通して具体的に示され、世の中を変える土台となる事を説かれ、示唆深いものとなった。



関根神父の講演に聴き入る参加者ら

第36回福岡地区カトリック女性の会総会 絆・つながる喜びを伝えよう

5月11日(土)、大名町教会において福岡地区カトリック女性の会総会が131人の参加者で開催された。祈りから始まり、担当司祭サトル二

ン神父と出会い、尊いミサに与かる事が出来ました。しかし、それ以来、殉教までの16年間、二度とミサに与かる事は出来ないままでした。一家にとつてミサは見果てぬ夢の又、夢だったのです。この思いを胸にして今日の殉教ミサに与かりました。」

福岡教区修道女連盟総会 現状の中で、今、何を伝えるか

4月29日(月)、平成最後の福岡教区修道女連盟総会が指導司祭古川健一神父(オブレイト会)と共に大名町カテドラルセンターで行われた。参加者は教区内の修道女39人。初めに夫津木昇神父(聖パウロ会)による講話とミサが行われた。総会では役員交代挨拶があり、2018年度の活動報告、収支決算報告、2019年度活動計画案、収支予算案承認、最後は屋敷交流会で結ばれた。

夫津木神父の講話のテーマは「私たちの現状の中で、何を伝えるか」。師は、「今、私たちは何を価値に生きていくのか」と問いかけ、「皆の使命はすべての人にとって喜びの福音を伝えることである」と述べた。

西日本司祭・助祭団親睦ソフトボール大会 in長崎 宣教・司牧にも張り合いが

5月13日(月)、長崎大学医学部のグラウンドで、西日本司祭・助祭団親睦ソフトボール大会が行われた。晴天に恵まれ、さわやかな風に包まれて白球が飛び交った。

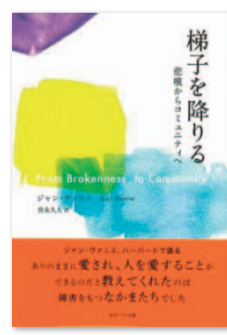
と、バチカン公会議から50年経った修道生活の現状と日本の教会でナイス(福音宣教推進全国会議)を通してのまとめ「共に喜びを持って生きよう」に触れながら、力強く語った。そしてフランススコ教皇の使徒的勧告「喜びに喜べ」を深く黙想し、生活の中で生かしていくように、大切なのは、神が与えた人や、どんな出来事にも価値があり、神はそこで語りかけておられることを感じ、伝え、キリストに仕える喜びを生き様で感じさせることであると話した。

5月13日(月)、長崎大学医学部のグラウンドで、西日本司祭・助祭団親睦ソフトボール大会が行われた。晴天に恵まれ、さわやかな風に包まれて白球が飛び交った。

者譲らずの展開であったが、徐々に相手のパワーにおされ、気付けてみれば3対15で大敗。今回は練習不足と若手選手の欠場も相まって上位を勝ち取ることは出来なかったが、チーム一丸となって来年に備える決意をした。優勝は長崎教区で、2位は広島教区、3位は高松教区、4位は大分教区、大阪と福岡教区は同率5位となった。今回は長崎教区が担当で、入念な準備がなされていた。審判は長崎教区浦上教会の壮年部が行い、昼食では長崎教区北地区女性部の手作りの料理が振舞われた。夜は一堂に会しての宴で、他教区の司祭、助祭、修道士と交わり、話も盛り上がり、歌や催しで一層絆が深まった。ある司祭は、「仲間意識が強くなり、宣教・司牧にも張り合いが出ます」と、神からの一日を感謝していた。



☆梯子を降りる
悲嘆からコミュニケーションへ
ジャン・ヴァニエ著



5月7日に90歳で帰天した、ラルシュ共同体の設立者ジャン・ヴァニエの歩みの核にあった「福音」が語られているハーバード神学校で行った講演録。ジャン自身の回心も含め、小さな人々との交わりが癒しと喜びに満ちていることが語られる。また、まえがきでヘンリー・ナウエンが「ジャンは、人びとを使徒としての根源的な生き方へ引きつけています」と述べるように、読者をより深い真理とコミュニケーションの交わりに導く内容となっている。

☆聞いてみよう イエスさまのことば
稲川圭三著



日曜日のミサで読まれるマタイとマルコの福音書の中から、それぞれに12箇所を選び、イエス・キリストのことばを分かりやすく解説
サンパウロ発行
税込価格1404円

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
株) ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 **森山工務店**
ヨゼフ 森山 新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名 2-7-7 大名町カトリック教会 1F
平日/AM10時30分~PM5時
日曜/AM11時~PM2時(定休日 水曜・祝日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

年間目標

信じる喜びから 伝える喜びへ

聖霊降臨の主日 6月9日(日)
聖ペトロ使徒座への献金 6月23日(日)

「福岡教区ハンドブック2019」が発行されました。各小教区でお受け取りの上、ご活用ください。

記載内容の修正があります。68ページ カノッサ修道女会 大牟田修道院 院長(誤) Sr. マーグリーテ・ドーボン→(正) Sr. 菊間富子

☆ハンドブックPDF版も配布しています。PDF版をご希望の方は小教区への通知を参照され、教区広報室宛にお申込みください。パソコン・スマートフォンでご活用いただけましたら幸いです。

教区エキュメニズム部講演会

日本におけるカルト宗教とその実態と教会の課題
日時:6月2日(日)14時~16時
場所:カトリック大名町教会 1階講堂
講師:岩崎一宏牧師(枝光キリスト教会)

福岡地区信徒使徒職協議会主催 「学びの場」

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を学ぶ Vol.1
テーマ:長崎の山の教会・海の教会
日時:6月16日(日)14時~16時40分
場所:カトリック大名町教会 1階講堂
ナビゲーター:叶堂隆三氏(下関市立大学・大名町教会信徒)
問合せ:☎090・6775・4268 青木

福岡家族支援 チャリティーコンサート

日時:6月22日(土)13時~14時30分
場所:カトリック大名町教会 聖堂
演奏:典礼聖歌アンサンブル(混声四部合唱) 高田三郎による典礼聖歌21曲、チルコロM.T.マンドリン合奏
問合せ:☎080・8392・7394 目良
※支援活動のための自由献金をお願いします

筑後地区信徒研修会

福者ユスト高山右近~列福から列聖へ~
日時:7月7日(日)14時から
場所:カトリック今村教会
講師:前田万葉枢機卿(大阪教区大司教)
主催:筑後地区宣教司牧評議会
問合せ:☎0942・77・2301 今村教会事務局

映画案内

教皇フランシスコは常々「無関心」からの回心を呼び掛けています。隣人と歩むために、社会の課題に目を向けるために助けとなる映画を2本紹介いたします。

- ①「主戦場」(慰安婦問題について)
KBCシネマ(福岡市中央区那の津1-3-21)にて6月8日より公開
②「あつい壁」上映会(ハンセン病の差別問題について)
日時:6月15日(土)15時30分から
場所:KBCシネマ(福岡市中央区那の津1-3-21)
料金:前売券1000円 当日券1500円(満席の場合、当日券の販売は行いません)
主催:ハンセン病家族訴訟を支える市民の会福岡
前売り券申込:メール adoruck@hor.bbq.jp

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

聖旨の天に行はるゝ如く、地にも行はれんことを。(C)

編集後記
新規購読申込を随時受け付けています。どなたかにお送りしたい気持ちもお届けできます。購読に関する問合せは教区広報室まで。上記メールアドレスまたは☎092・522・4059

教区報の年間購読
福岡・今村 短大2年
福岡・横山 福岡・久留米 大学1年
ミカエル池田健吾(長崎・植松) 大学1年
フランシスコ・アシジ田中逸樹(長崎・深堀) 専門学校1年

案内板

会合と催し

6月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 6・7月

6月 1日(土) ロザリオの会
5日(水)~6日(木) 召命を共に祈る会
7日(金) ぬくみカフェ準備
9日(日) ぬくみカフェ講演会
10日(月)~14日(金) 福岡教区司祭黙想会
21日(金)~28日(金) 奉獻生活者のための黙想会
29日(土) 黒崎友の会
7月 6日(土) ロザリオの会
20日(土)~27日(日) 奉獻生活者のための黙想会
21日(日)~24日(水) 産業医科大研修会
※お電話またはメールでお問合せください。
*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 FAX0940・32・3385
Email:f-mokuso@fmokuso.com

真命山諸宗教対話・霊性交渉センター

※祈りの集い
年間テーマ:「祈り」神秘体験~キリストによって神との出会い
日時:6月13日(木)10時~15時
内容:「わたしが命のパンである」(ヨハネ6・35, 51)
指導者:フランコ・ソットコロ神父(聖ザベリオ宣教会)
問合わせ先:真命山諸宗教対話・霊性交渉センター
次回:7月11日(木)「わたしは道であり、真理であり、命である」
☎0968・85・3100 FAX0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蛸浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時:6月8日(土)・22日(土) 10時~11時45分
7月6日(土)・20日(土) 10時~11時45分
場所:カトリック大名町教会小聖堂

◆福岡
聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時)毎週月曜11時~12時半(場所)大名町教会1階(内容)賛美と感謝の祈り・聖書の分かち合い(問合せ先)☎092・521・2503 蓮尾
聖ドミニコ信徒会集會(日時)6月1・15日(土)15時~17時(場所)箱崎教会(内容)福音の分かち合い(指導)アントニオ李神父(ドミニコ会)(問合せ先)☎092・651・3867 箱崎教会
第77回福岡典礼聖歌研修会(日時)6月2日(日)14時から(場所)笹丘教会(テーマ)6月の祭りの聖歌(講師)深堀純氏(参加費)感謝献金(問合せ先)☎092・541・3730 松山
福岡ホスピスの会公開講座(日時)6月9日(日)15時~16時半(場所)福岡黙想の家(講師)樋野興夫氏(チケット代)1500円(発売中120席)(問合せ先)☎090・1162・6395 柴田
レジオナリエ福岡クリア(日時)6月9日(日)13時半~16時半(場所)高宮教会(問合せ先)☎090・9654・969 吉
震災のための祈りのリレー(日時)6月11日(火)ミサ7時から/夕の祈り(テゼの祈り)19時から(場所)高宮教会(問合せ先)☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)

聖書に集う会(日時)6月12日(水)14時~15時半(場所)サンパウロ福岡宣教センター3階ホール(問合せ先)☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)
福岡チエナクルム(司祭のマリア運動)(日時)6月14日(金)10時(場所)高宮教会(指導)パウロ神父(方ブチン・フランシスコ修道会)(問合せ先)☎090・7468・3631 西田
ミサ聖歌研修会(日時)6月16日(日)13時から(場所)福岡黙想の家・ザビエル聖堂(内容)ミサ曲詩編の歌い方、テ・デウムなど(講師)深堀純氏(参加費)自由献金(問合せ先)☎0940・32・3222 福岡黙想の家
カルメル在世会集會(日時)6月17日(月)10時半から(場所)福岡女子カメルル会修道院・テレサの家(内容)ミサ・講話(カルメルの霊性(指導)大瀬高司神父(方ルメル会管区長)(問合せ先)☎095・828・2350 鴨池

グレゴリオ聖歌を歌う会(日時)6月18日(火)11時から(場所)聖クララ寮(内容)イエスの聖心に捧げるグレゴリオ聖歌ミサ(問合せ先)☎096・3800・5686 堺
福岡召命を共に祈る会(日時)6月18日(火)13時半から(場所)大名町教会(内容)召命を願うミサ(イ・ハヌン神父司式)と分かち合い(問合せ先)☎092・921・4532 山口
師イエス祈り会(日時)6月21日(金)10時(場所)高宮教会・小聖堂(問合せ先)☎090・7468・3631 西田
虹の会(子どもを亡くした親の会)(日時)6月22日(土)14時~16時(場所)サンパウロ福岡宣教センター3階(参加費)5000円(問合せ先)☎090・1162・6395 柴田
ラスキン黙想と祈りの集い(テゼの祈り)(日時)6月28日(金)19時45分から(場所)大名町教会小聖堂(問合せ先)☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)
美野島司牧センター
あなたの勇気が路上の命を支えます!ホームレスの方に手作りのお昼ごはん 毎週火曜日10時 ◆ホームレス支援夜回り毎月第1金曜日・調理14時

◆熊本
北九州召命を共に祈る会(日時)6月8日(土)14時から(場所)小倉教会(内容)ミサと茶話会(問合せ先)☎0949・24・9905 藤井
小倉祈りの集い(日時)6月28日(金)13時半~15時(場所)小倉教会信徒会館2階(内容)「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り(問合せ先)☎090・3985・5209 松田
◆熊本
聖霊による刷新熊本祈りの集い(日時)毎週金曜日10時半~12時(場所)手取教会信徒会館(問合せ先)☎096・384・1693 中川
2019年度、福岡コレジオ(長崎教会管区司祭志願院)に在籍しているメンバーを紹介いたします。
◆ドミニコ吉原祐則(長崎・福江)
◆アシジのフランシスコ 萩原篤志(福岡・今村) 短大2年
◆パウロ横山 福岡・久留米 大学1年
◆ミカエル池田健吾(長崎・植松) 大学1年
◆フランシスコ・アシジ田中逸樹(長崎・深堀) 専門学校1年

メモリーホール
人と人の絆を大切に。ご葬儀のご相談は
薬院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚
市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店
0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院
医科・歯科臨床研修指定病院 総合周産期医療センター
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
救命救急センター 地域災害拠点病院
〒830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

聖地イスラエル 12日間の旅
旅行期間:2019年8月20日(火)~31日(土)
同行司祭:森山 信三神父(福岡コレジオ)
旅行代金:15名以上の場合 408,000円
20名以上の場合 385,000円
申込先:(有)アミタイトラベル(担当:水村、清水)
TEL 03-3535-6850 / fax03-3535-6855
Eメール creative@rio.odn.ne.jp
あるいは 福岡コレジオ(担当:森山)
TEL 092-534-4600 / fax092-534-4601
Eメール sulphices@plum.ocn.ne.jp
申込締切:7月10日(水)

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!
http://www.paulus.jp
パウルスショップ
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00~18:00(月~土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax:739-3930